

「神への信仰」

モーセの使命の一步は果たされました。しかしここから苦難の連続の歩みが始まったのです。モーセの使命は、困難を見ては神に逆らい、単に見える祝福が来れば喜ぶという、200万人を超える多くのイスラエルの民(出エジプト12:37)を、カナンの地に送り届ける事でした。

彼は幼子のように神様に頼り、見えない神の道とみこころを知りぬき、信じぬきました。不信仰な民を養い、導く、彼の40年の荒野の旅の原動力は、ただ神への信仰だけでした。

今日の聖書の学びの要点

- ・人は単に目に見える祝福によってだけ喜び、困難を見て神に逆らう。
- ・信仰の目は神のみこころの中心を見極める。神は信仰の人に栄光を現わされる。

I、紅海を渡る

1、神様はエジプトを出発した民を、荒野の道へ導かれました。

(出エジプト13：18)

①カナンの地へ最短距離で向かうならエジプトから約2週間程度です。

どうして、近道を通らせなかったのでしょうか。(出エジプト13：17)

②神様は昼と夜、別々の柱をもって、イスラエル人を導かれました。どのような意味と効果があったのでしょうか。(出エジプト13:20～22)

・昼は雲の柱：

・夜は火の柱：

2、神様は荒野の端のエタムから引き返し、海辺に民を導きました。

神様の計画はどのようなものでしょうか。(出エジプト14：1～4)

①神様はエジプトの王の心をどのようにされたのでしょうか。

(出エジプト14:5～9)

②不平をいうイスラエルの民に対して、主はモーセに何と言われましたか。
(出エジプト14:13～18)

③この大事件は、イスラエル人にどのような思いを起こさせたのでしょうか。
(出エジプト14:14～31)

Ⅱ、モーセの信仰

1、エジプトにはもう戻れません。何も無い荒野で神様はどのようにしてくださったのでしょうか。

①祝福の約束 (出エジプト15:26)

②天からのマナとウズラ (出エジプト16:4～31)

③神様はどのような方でしょうか。(マタイ6:25～34)

2、詩篇103編7節を読みましょう。何がどう違うのでしょうか？

①モーセにご自身の道を知らされました。(ご自身の道とは＝見えない神の道)

・モーセはみこころを知って、どうしましたか。

②イスラエルの子らにはみわざを知らされました。(出エジプト16:2～4)

・民は大きな奇跡を間近で見ました。困難に遭うと、どうしましたか。

③これは主イエス・キリストが弟子たちには神の奥義を教え、群衆にはたとえもって語られたのと似ています。弟子たちと群衆は何が違うのでしょうか？

(マタイ13:11～16)